

納得

ガソリン価格が、原油先物価格下落と同様に下がらない。その価格が最高値から半値以下に下落したにも関わらず、当文執筆現在、近所のセルフで¥148/ℓである。（直近最高値は¥165/ℓ）昔、80円代/ℓの時代もあったと記憶する。夢か幻か？

<高値安定の要因（私的かつ庶民的な所見）>

- ①ガソリンの生産性（原油からの精製）がここ数十年の間に年々退化・悪化しているに違いない。または、生産以外のコストが顕著に悪化したに違いないのであろう。原料の小売単価に占める割合がどの程度か不明だが、両者を否定するのであれば、まさかである。
- ②石油元売りがその責任（原因）をその時々都合よく、原油価格高騰または円安に転嫁している。一般庶民からすれば、分かっていてもどうすることも出来ない歯がゆさがある。
- ③HV・軽自動車の普及・増加により、ガソリンの需要が確実に減少しているはずであるにもかかわらず、価格は下落の兆しが見えない。需要なきインフレは悪と言われている。
- ④作画的に不作為であるのか？政府は黙認。表面的なデフレ解消が透けて見える。
- ⑤石油系で暖を取る方より、電気系で暖と取る方が効率がよいのか、経済的なのか、社会の為になるのか、環境に良いのか、何かを再稼働させようとしているのか、理解不能。
- ⑥石油系火力発電所稼働による石油（原油）の需要増がどの程度影響しているかは不明（石炭・ガスもある）発電所以外の石油系の国内需要増は見当たらない。

世界的に見渡しても、供給量に勝る需要増は見当たらない。高値安定の理由は枚挙に暇がない。庶民として納得できないことは間違いないし、共感される方も多いであろう。

嘶。先日「春秋物」のリバーシブルのコートを買いに行った。

良さそうなモノが見つかったのだが、なぜか「両面裏」の札が付いていた。

「どうして両面裏なの？」と店主に尋ねたところ

『お・も・て・な・し』だってサ。

なかなかデキル店主だ。

ふと、後ろを見ると、もっと良さそうなモノがあった。

しかし、よく見ると、今度は「非売品」の札が付いていた。

「なんで非売品なの？」と店主に尋ねたら

「あれは、両面表だから」と返答。

「なんで両面表だと非売品なの？」ともう一度問い詰めると

『うらない』だってサ。

納得。